

文教大学越谷図書館における情報リテラシー教育

文教大学越谷図書館 資料相談係

藤倉 恵一

siegler@lib.bunkyo.ac.jp

現在、文教大学越谷図書館では主として 3 種類の情報リテラシー教育を学部生に対し実施している。

新入生図書館利用ガイダンス（4 月中旬～6 月上旬頃）

新入生の必修全クラスに対し実施、出席率は約 90%（2001 年度実績）

1999 年度より実施開始、制度としては完全に定着（内容は毎年見直しを行っている）

ガイダンス 1 コマにつき専任職員 2 名が必要（ツアー・実習は人数を半分に分けて実施）

* ガイダンスの主な内容

- ・ プレゼンテーション 大学図書館を利用することの意義・意味・必要性
図書館の概要 資料の種類・所蔵数・排列
文献探索の初歩
利用マナー指導
- ・ 館内ツアー 設備・サービスの紹介
- ・ コンピュータ実習 OPAC、図書館ホームページの紹介および実習

* 新入生ガイダンスの問題点

- ・ 端末台数 受講者の平均人数 30 名強に対し実習用端末は 10 台
- ・ 実施時間 特定曜日の同じ時限に授業集中

その時間帯のクラスには実施が遅れるところが出てくる

情報処理教育初級カリキュラム（6 月中旬～下旬）

各学部「情報処理教育初級」カリキュラム内の 1 授業時間を図書館職員が担当

新入生の約 95%が履修する半期授業（2001 年度実績；通年の授業もある）

基本操作・電子メール・インターネット・ワープロといった初歩的コンピュータ
リテラシー教育の中で、OPAC や文献データベースの紹介と実習を実施

* 情報処理教育 授業の主な内容

- ・ OPAC の応用操作 いちばん身近で、整合性のあるデータベースを教材に
論理演算（ブール検索）の基礎と応用
- ・ OPAC 以外の文献データベースも教材に使用

* 情報処理教育 授業の問題点

- ・ 受講者が多いと検索サーバに負荷がかかる（50 名を超えるクラスもいくつか）
表示に時間がかかると、学生の注意力・集中力が続かなくなる
サーバそのものの動作に支障をきたすこともある

文献検索ガイダンス（通年；ただし 5～6 月、10 月に特に集中）

希望するゼミに対し実施（基本的に 3・4 年生が対象）

25 クラスに対し実施、316 名が受講（2001 年度実績）

10 年以上前から続く、主題重視のガイダンス

事前にヒアリングしたゼミの課題・個々の卒論テーマに応じた文献の探索方法

近年は関連する各種データベースの使用法・検索方法の比重が大きい

* 文献検索ガイダンスの主な内容

- ・ OPAC のより高度な検索、関連データベースの紹介

- ・ テーマに応じた文献紹介・探索方法

雑誌の活用法、コンピュータに頼らない文献探索法など

- ・ レファレンスカウンターの活用法

* 文献検索ガイダンスの問題点

- ・ 教員のリピーターが多い一方、学部・学科によっては申し込みがまったくないところもある

- ・ 資料相談係の専従職員 2 名が交替で実施 5 月は特に負担大

今後の課題

* 環境の整備

- ・ 実習台数の増加

完全な実習の実施（全員が操作実習できるだけの台数の確保）

実習時間帯に他の利用者に極力迷惑をかけない

- ・ 同時検索の負荷に耐えられる強力なサーバ

今年 4 月にサーバを交換したが、50 以上の同時検索に対しての動作は現時点では未確認

* ガイダンス内容・各種資料を図書館ホームページ上で公開

（配布資料、実習の応用問題などで当日のガイダンスを補完）

- ・ 欠席者へのフォロー、後日の復習

- ・ 大学院生等ガイダンスを受講する機会のない（少ない）利用者へのフォロー

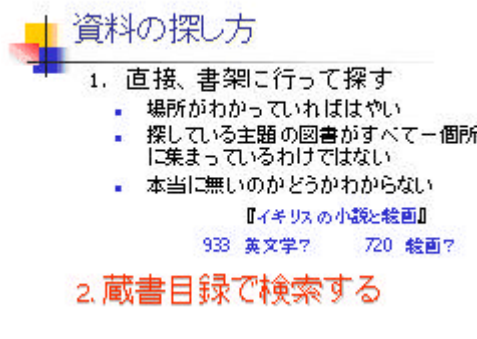
* ガイダンスのコンテンツの充実

教員と協力し、より教員・学生のニーズにあったガイダンス内容の組み立て

* 文献検索ガイダンスの広報強化

ガイダンスの実績・内容の広報を強化し、より幅広い申し込みを受け付けたい

9. 資料の探し方 (2) 蔵書目録で検索する

画面イメージ	この画面での確認事項
 <p>資料の探し方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 直接、書架に行って探す <ul style="list-style-type: none"> 場所がわかっていれば早い 探している主題の図書がすべて一個所に集まっているわけではない 本当に無いのかわからない 2. 蔵書目録で検索する <p>『イギリスの小説と絵画』 933 英文学? 720 絵画?</p>	<p>直接書架にあたることの欠点 蔵書目録を使う</p>

直接書架にあたることの欠点

説明を続けます。

「直接、書架に行って探す」方法は、資料がどこにあるか、その場所さえわかっていれば手っ取り早い方法です。

しかし弱点もあります。それはある主題の本が全て一箇所に集まっているわけではない、ということです。

同じ主題の本でも地下 2 階の書庫にあるかもしれません。図書館には無くて研究室にあるかもしれません。あるいは貸出中かもしれません。何箇所も探す必要があるし、見つからない場合に本当に図書館にないのかわからない、わかりません。

それから例えば、「イギリスの小説と絵画」という図書はどこに配架されているでしょうか。

主題からだ地下 1 階の文学のところかもしれないし、

2 階の芸術のところかもしれません。

蔵書目録を使う

このようなとき、探したい資料の書名や著者名が分かればもっと便利な方法があります。

それが「蔵書目録で検索する」という方法です。

プレゼンテーション用のマニュアル (部分)

今年度の新入生ガイダンス実施にあたって、担当する職員向けのマニュアルを作成した。PowerPoint によるスライドの画面に加え、そのスライドが表示されているときの説明内容と要点をシナリオとして示している。

なお、文中 印はクリックすると PowerPoint のアニメーションが動くことを示し、 印はスライドの切り替えのタイミングを示している。

6. 2 階

場所の写真 (担当者の目線)	経路および確認事項
	<p data-bbox="1043 394 1254 427">文庫コーナーの前</p> <p data-bbox="1043 495 1235 573">一般書架の説明 文庫コーナー</p>

2 階各コーナーの説明

2 階のレイアウトは地下 1 階とほぼ同じです。

真ん中に一般書架が 2 列あります。左の列「0」の総記からはじまって、右の列「7」の芸術までが配架してあります。

閲覧席は左右両側にあります。そしてこちらは「文庫コーナー」です。文庫コーナーは 2 ヶ所あって、階段の向こう側にもあり、主に文学作品をまとめています。

場所の写真 (担当者の目線)	経路および確認事項
	<p data-bbox="1043 1079 1270 1158">ブラウジングルーム 学生生活コーナー</p> <p data-bbox="1043 1225 1254 1258">教科書コーナーへ</p>

ブラウジングルームの説明

この「ブラウジングルーム」には新聞や週刊誌のほか、「学生生活コーナー」があり、旅行ガイドなどを配架しています。くつろげる場所と考えてください。

新聞・雑誌のバックナンバーは下の戸棚の中にあります。

このブラウジングルームと 1 階入口ロビー、そして地下 1 階のブラウジングルーム、この 3 ヶ所については飲み物を飲むことと、携帯電話の使用ができます。

注意事項等

ブラウジングルームの中に入るかどうかはブラウジングの混雑状況で決めてください。

利用が多い場合には中に入らず、外から説明してください。

館内ツアーのマニュアル (部分)

同様に、館内ツアー用のシナリオも作成した。ツアーはスライドと異なり、読み上げ用というよりもむしろ要点を忘れないことを目的に作成したマニュアルである。